

胃がん検診を受けましょう

徳川家康や武田信玄などの戦国武将も胃がんで亡くなったと言われていますが、胃がんは最近まで人類のがんの罹患数のトップでした。近年は、衛生状態の改善により減少傾向ですが、日本はまだまだ多い状況です。

2014年 がんの罹患数が多い部位

	1位	2位	3位
男性	胃	肺	大腸
女性	乳房	大腸	胃
男女計	大腸	胃	肺

出典) がん情報サービス

胃がんは男性に多い傾向で、50歳頃から増加しています。



胃がんの予防には**定期的な検診受診が重要です!**

胃がんの発生要因はヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）と喫煙です。また、食塩や高塩分食品の摂取が、胃がんの危険性を高めることが分かっています。

上下水道の整備、冷蔵庫の普及などにより衛生状態がよくなり、若い世代のピロリ菌感染は減っていますが、中高年の感染率は高く、定期的に検診を受診することでがんを予防できます。

国で推奨している検診



胃部
X線検査



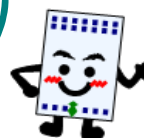
胃内視鏡
検査

胃がんは早期発見
できれば治ります!!

5年相対生存率

95.9%

*生存率：がんと診断されてからある一定期間経過した時点で生存している割合



長野市の検診
について

詳しくはこちら ⇒



皆様の健康づくりに役立てていただくための「なっぴい健康出前講座」実施中！
お気軽にお問い合わせください。

長野市保健所健康課
ながの健やかプラン 21 推進市民の会
電話 226-9961 FAX 226-9982